



黒島の町並み

黒島の町並みは、東西約680m、南北約1,300m、面積約20.5ヘクタールの範囲に広がっています。集落を縦に貫く本通りを中心に、通りに沿って伝統的建造物が連続しています。集落は緩やかな丘陵斜面上にあり、高台に上ると海を背景にして黒瓦が重なりあう美しい景観を一望できます。明治期から現代までの幅広い建築物がありますが、江戸時代当時の町割りが良く残っており、「黒瓦」「格子」「下見板張り」という共通要素によって、統一感のある美しい景観の町並みを保っています。

震災からの復興

黒島地区では、平成19年(2007)の能登半島地震によって、多くの建物が被害を受けました。地区内の286棟のうち3分の1が全半壊状態となり、黒島の歴史的景観も崩壊の危機にあったのです。しかし、それを機に黒島では美しい町並みを後世に残していくため、「黒島地区まちづくり協議会」を発足させ、地元主体による町並み保存型のまちづくりを目指しました。

協議会を中心に、震災復興のための各種住宅再建支援事業を活用しつつ、伝統的意匠を踏まえた修復や、町並みに配慮した新築がなされ、黒島地区の歴史的景観に配慮した復興が進められました。

その一環として、伝統的建造物群保存地区制度の活用を目指し、住民、行政との協働による調査が進められ、平成21年(2009)6月30日に、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されました。



アクセスのご案内



入館料

大人(15歳以上で中学生除く)	300円
団体(20名以上)	250円
小人(小学生及び中学生)	150円

開館時間

午前9時から午後5時まで(ただし入館は午後4時30分まで)

休館日

月曜日(祝祭日に当たる場合はその翌日)
年末年始(12月29日から翌年1月3日まで)

お問い合わせ

輪島市天領黒島 角海家
〒927-2165 石川県輪島市門前町黒島町口の94番地2
TEL. 0768-43-1135(FAX共)
MAIL. kadamike@ca1.wannet.jp

輪島市教育委員会 文化課
〒928-0001 石川県輪島市河井町20部1番地1
TEL. 0768-22-7666 FAX. 0768-22-7669
MAIL. bunka@city.wajima.lg.jp



石川県指定有形文化財

輪島市天領黒島角海家

石川県指定有形文化財

かどみ 角海家住宅

昭和47年(1972)、角海家住宅(主屋と土蔵4棟)は、石川県指定有形文化財となりました。現存する黒島の代表的な廻船問屋住宅です。現在の建物は、明治4年(1871)の大火で、土蔵4棟だけを残して焼失した翌年に再建されたものですが、地元の名匠・工野藤兵衛によって、配置や構造は元どおりに再建されたと伝えられています。

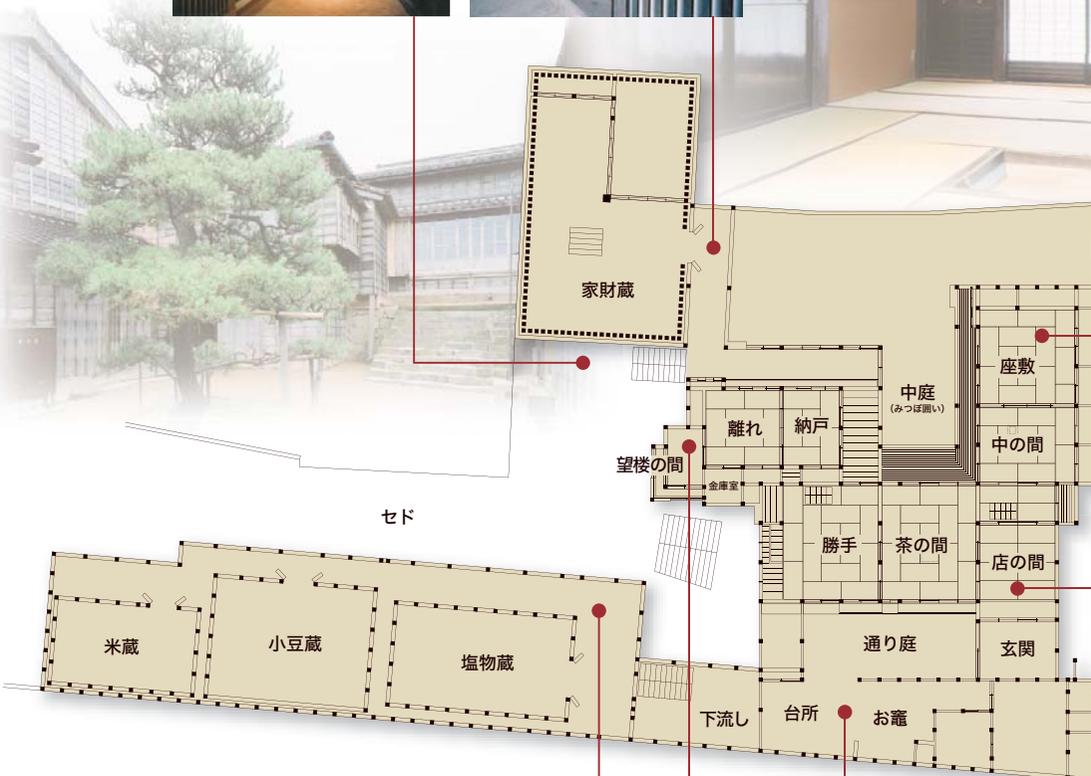
主屋は木造平屋建てで、切妻造平入り低二階の瓦葺きで、表通りに面した正面は、二階部分が白漆喰の塗り込めになっており、他は下見板張りとなっています。また、「サガリ」や「持ち送り」「大戸」「太格子」など、典型的な黒島廻船問屋型町屋の特徴が見られます。

間取りは、表通りに面して「店の間」「中の間」「座敷」と横に並び、「みつば囲い」と呼ばれる中庭を挟んで、家族の居室である「納戸」「離れ」がその後ろに並び、さらに「望楼の間」が配置されています。また、入口から奥まで「通り庭」が通り、左手に「台所」「お籠」などの下屋が並び、右手には「店の間」「茶の間」「勝手」が並び、通り庭型式の間取りで、類焼を免れた土蔵とともに、往時の廻船問屋住宅の規模をよく伝えています。

平成19年(2007)の能登半島地震によって大きな被害を受けた後、輪島市へと寄贈され、同23年(2011)7月に復原工事を終えました。



輪島市指定文化財
「緑漆塗留穂枕金舟形酒器」



輪島市指定文化財
「藍地波兎模様革羽織」

